

ぶつきょうつうしん じょうぼん 『上品 (エレガント!) とは』 がつごう
仏教通信 2月号

にんき まんが げんさく えんどう たつや さくひん さくひん かんたん しょうかい
人気のあるアニメ(漫画)に『スパイファミリー』(原作:遠藤 達哉)という作品があります。この作品を簡単に紹介する
せんそう お どうざいれいせんちゅう どうごく せんにゆう さいごく すごうで たそがれ ちちおや
と、戦争が終わっても東西冷戦中の東国に潜入している西国の凄腕スパイのロイド(黄昏)が父親になりすまし、ロイ
ぎそうけっこん ころ や ははおややく むすめやく じんたいじっけん ちょうのうりよく あた しょうじょ かぞく
ドと偽装結婚をした殺し屋のヨルが母親役を、娘役を人体実験で超能力を与えられた少女アーニャの三人が家族を
えん かぞく さまごま の こ しん かぞく せいちょう すがた
演じます。そのニセモノだった家族が、様々なミッションを乗り越えていくうちに、真の家族へと成長していく姿が、アク
ションコメディながら感動してしまう作品です。

さくひん み よ たいへんきょうみぶか どうじょうじんぶつ で しゅじんこう しょう たんにん
さて、この作品を観て(読んで)いると、大変興味深い登場人物が出てきます。それは、主人公アーニャ(小1)の担任
きょうし せんせい かれ こうちや この しょうろ しのし ひんかく こうどう ほ さい
教師であるヘンダーソン先生です。彼は、紅茶を好む初老の紳士で、品格のある行動を好み、褒める際は「エレガント！」
ことば はっ じぶん つと こう しょうちゅうこういっかんこう ほこ も じんぶつ せんせい
という言葉が発し、自分の勤めるイーデン校(小中高一貫校)に誇りを持っている人物です。ヘンダーソン先生がつかう
がいけん しょうき ゆうが ないめん うつく つよ りこ はな おも ゆうじょう
「エレガント」とは、外見の所作や優雅さだけでなく、内面の美しさや強さ、つまり利己を離れた思いやりや友情、そして、
ゆうき じっせん ちせい ひと ひんかく おし せんせい に ど せんそう とお
勇気を実践できる知性こそが人としての品格をあらわすと教えてくれます。そのヘンダーソン先生は二度の戦争を通して、
にんげん よわ ぼうりょくせい ま あ かれ きょういく みらい きぼう しん げんどう れいせつ
人間の弱さや暴力性を目の当たりにするのですが、彼は教育こそ未来への希望であると信じ、エレガントな言動や礼節に
じどう せいと しんしん みが すがた いんしょうてき
より児童・生徒たちの心身を磨こうとする姿が印象的でした。

しゃか ないめん うつく じょうぼん いっぱんてき よ ぶつきょう じょうぼん
お釈迦さまも内面の美しさについて、「上品(一般的には「じょうひん」と読みますが、仏教では「じょうぼん」)」「上品
じょうしょう ぶつきょう じょうぼん がいけんてき ゆうが はな ちが ないめん うつく おも
上生」を説きます。仏教の「上品」は、外見的な優雅さや華やかさとは違います。それは、内面の美しさであり、「思
りた い かた かん がいねん じょうぼん う そだ ぶっしつてき ゆた き
いやり」や「利他の生き方」に関する概念です。「上品」とは、生まれや育ち、あるいは物質的な豊かさによって決まるもの
じひ こころ しんじつ みぬ ちえ じょうきょう にんげんせい うしな たか りんりかん そな
ではなく、むしろ、慈悲の心や真実を見抜く智慧、そしてどんな状況でも人間性を失わない、高い倫理観を備えている
じんぶつ さ はな さんにかぞく どうしょ じぶん たちば せいかつかんきょう まも
人物を指します。はじめに話しました『スパイファミリー』の三人家族はニセモノで、当初、自分の立場や生活環境を守る
かぞく えん きょうりょく こんなん の こ ないめん
ためだけに、かりそめの「家族」を演じているにすぎなかったのですが、協力しながら困難を乗り越えていくうちに、内面
せいちょう と じょじょ かぞく たい やさ おも しんらい み
の成長を遂げて、徐々に「家族」に対する優しさや思いやり、信頼を身につけていきます。

わたし かぞく おやこ ふうふ きょうだい ゆうじん してい どうりょう たいせつ あいじょう
私たちには、それぞれ「家族」「親子」「夫婦」「兄弟」「友人」「師弟」「同僚」など大切なものがあります。そんな愛情
ぶか いちめん も とき たしゃ さげす うたが にく ふ しょぎょう おこな にんげん
深い一面を持ちながら、時として、他者を蔑み、疑い、憎むという負の所業を行うのが人間
れいせんか どうざいりんごく ひとびと ぞうお ぎねん さいご
です。『スパイファミリー』は、冷戦化の東西隣国の人々が憎悪や疑念をつのらせながらも、最後は
しんらい おも えら にんげん しゃか おし きょうてん
「信頼」や「思いやり」を選びとろうとする人間ドラマです。そして、お釈迦さまの教えは経典の
なか わたし にちじょうせいかつ ふだんめ ものがたり まんが なか さんざい
中だけにあるのではなく、私たちの日常生活や、普段目にする物語、漫画アニメの中にも存在し、
じょうぼん い かた しめ わたし しゃか せんせい と
「上品」な生き方を示してくれます。ぜひ、私たちも、お釈迦さまやヘンダーソン先生が説く
じょうぼん かんが じっせん がっしょう
「上品」「エレガント」について考え、実践していきましょう！ 合掌

